

様式 2

平成21年度 第3回安曇野市スポーツ振興計画策定委員会 会議概要

1	審議会名	スポーツ振興計画策定委員会
2	日 時	平成21年12月22日 午後7時00分から午後9時15分まで
3	会 場	豊科公民館 大会議室
4	出席者	古澤会長、加々美副会長、赤羽委員、大谷委員、降旗委員、丸山委員、増沢委員、高橋委員、宮沢委員、阿部委員、征矢野委員、廣田委員、鹿川委員、会田委員、布山委員、鹿川委員、会田委員、内川委員、布山委員、山田(賢)委員、山田(文)委員、矢野委員、畠山委員、青柳委員
5	市側出席者	赤羽課長・藤原係長・横山企画員・中島主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成21年12月25日

協 議 事 項 等	
1	会議の概要 (1) 開会(赤羽課長) (2) 会長あいさつ (3) 協議事項 スポーツアンケート実施概要について スポーツアンケート設問内容について (4) 閉会(赤羽課長)
2	豊科プール閉場について(説明:課長) 第2回の時に市内の体育施設視察ということで見てもらった豊科プールについて聞いて欲しい。予算の時期でもあり業者に見積もってもらった。昭和55年8月のオープンの施設ですすでに29年が経過した。だいぶ老朽化が進んでいて、ろ過装置、滅菌装置が限界にきている。来年度やるとして5千万円から6千万円かかると聞いている。ろ過装置本体はもとより中に入っているろ過砂もカビが生えたりして浄化ができない状況も生まれている。水質基準だけは保っているところではあるが、透明度がでてこないということで薬を使ってなんとか今シーズンやったところである。それから、バルブが回らない、配管に水漏れがある、塗装も剥げて藻が生えている、プールサイドは地盤沈下で段差ができ裸足で歩くには危ないといった状況にある。今見えるところだけで最低5千万円の修繕費がかかるということである。こういった経過もあり本日の議会全員協議会でも限界にきていると話をした。市民のみなさんにも説明していかなければいけないということで今度の26日、土曜日に説明会を開く。来年度から閉場ということで話を進めていくので委員のみなさんも承知しておいて欲しい。また、プールの管理棟の入口の前に道を開通させる予定になっていて、目の前が道路となり危険も出てくる。
3	会長あいさつ 寒い時期になってきてウィンタースポーツが盛んに行われて、バンクーバーオリンピックに向けてもいろいろ競技が行われている。松本山雅もJFLに昇格し、身近でも明るい話題がでてきている。前回、11月23日に16施設を見てもらった。何か感想や意見があれば出して欲しい。 (委員) 三郷の文化公園体育館をバレーボールの県連で借りようと思ったら、今年から減免ができないと言われた。都市公園の体育館は普通の体育館とは違うということを安曇野市全体に知ってもらう必要がある。わかりやすく周知して欲しい。 (会長) 豊科プールは廃止ということだが、新たなプールを造るということも考えられるのか。 (事務局) 旧5町村には3つプールがあった。明科プールが豊科より1年遅れて開設、穂高のプールが平成元年にオープンしている。また、穂高広域施設組合のあづみ野ランドが平成4年、ララー松本が平成11年に開設している。10万都市で豊科プールを閉場するからそれに代わるものを

協 議 事 項 等

どうするのかという話もある。ラーラ松本、あづみ野ランドは1年中使える状況にあり、夏場の短期間、豊科と穂高と2つ必要かという話にもなるかと思う。人数が減っているのも現実。豊科プール、昭和59年には約8万人、穂高プールができて半分になった。近年は1万人くらいで今年は天候の影響もあったが、約7千人くらいであった。市民の健康増進ということであれば、ラーラ松本、あづみ野ランドが1日やっているところ利用して欲しい。45日のためにこの施設が必要なかと言われると必要ないだろうと判断しているところである。プールは借地があり、豊科プールは1万1千平米くらいの内、5千7百平米くらいで借地料だけで6百万以上払っている。穂高プールのほうも1千万くらいである。穂高スイミングや島内のSAMなんかもある。一定の役割は果たしたと思っている。

(副会長) たくさん施設があってもいいが、回ってみて一番思ったのが、中心になるようなシンボリックな施設があってもいいと思った。それぞれの地域で使っていることが多いと思うので全市的な施設になればいい。

これからスポーツアンケートについて協議してもらおうが、実りあるものになるようお願いしたい。

4 協議概要

(1) スポーツアンケート実施概要について

(会 長) 事務局のほうから説明をお願いしたい。

(事務局) 【資料内容説明】

(会 長) 質問、意見等ありましたらお願いしたい。

(副会長) 市のホームページでアンケートを任意でとることは考えていないか。

(事務局) スポーツ振興計画素案の段階でホームページ等でパブリックコメントをとることは考えているが、アンケート自体をホームページでやるということは偏りがでてしまう可能性があると考えていない。

(委 員) 男女比はどうか。

(事務局) 現在、安曇野市の男女比は、男性が48.1%、女性が51.9%ということでほぼ半数になっている。業者からは気にしなくていいだろうと言われている。

(副会長) 無作為で抽出して郵送で答えてもらうのはいいと思うが、それ以外の部分があってもいいかと思う。

(事務局) 例えば、障がいをお持ちの方はどういった考えをお持ちなのか意見を聞きたいと思うし、実際、スポーツ施設を利用している団体のみなさんからもなんらかの形で意見をお聞きしたいと考えている。

(会 長) ホームページ等でスポーツ振興計画を策定していることは周知されているのか。

(事務局) ホームページには載っている。

(会 長) そこにアンケートを載せることはないのか。

(事務局) 先ほど言ったように年代的なものとかで偏りがでてしまうと思う。

(委 員) 障がい者、スポーツをされている方のアンケートはどのように考えているのか。

(事務局) どちらかというと自由な回答という形かと思う。例えば、スポーツをされている方には、現在、使っているスポーツ施設の中で設備が不足している部分があるか、新たなものがあつて欲しいか、といった内容。障がいをお持ちの方には、どのようなスポーツイベント、教室があればいいか、

協 議 事 項 等

- そこまでの移動手段、ボランティアが必要なのかといったことを聞けばどうかと思っている。
- (委員) そうすれば、意見に偏りがあると思う。一般的なものとは違う。
- (事務局) 千曲市は小中学生対象アンケートなんかやっている。まとめ方によると思う。
- (会長) 積極的な意見も聞きたい。
- (副会長) 偏っていてもいいと思う。それを採用する、採用しないじゃなくて、一つのメジャーじゃない部分の意見も聞くことも必要ではないかと思う。過激な意見があってもいい。
- (委員) それを一緒にするのはまずいのではないか。
- (副会長) 一緒にしないでいい。こういう意見もあったとか、否定的にスポーツ振興なんて優先順位低いんじゃないのっていう意見があってもしかるべきかなと思う。
- (委員) まとめ方の問題だと思う。
- (副会長) 振興の委員だからいいほうに持っていくのは当然と思っているが、反対の意見を把握しておく必要があると思う。
- (委員) 一般的な市民のみなさんへのアンケートはこれでいいと思う。障がい者の方、スポーツしている方にはアンケートがあると言うんだから、それはそこでまとめれば良いと思う。
- (委員) アンケートの回収率を上げるために返答用の封筒は入っているのか。回収期間はどのくらいか。
- (事務局) 返信用の封筒は入っている。期間はあまり長くすると忘れられてしまうこともある。10日から2週間くらいだと回収率が高いと聞いている。
- (委員) 返答が来てからの話だが、回収率を上げるために2千人の内半分1千人が返答してきたとして残りの1千人の人たちは、封も開けなかったりして返答しないような人へのフォローアップをして、例えば、電話するなどフォローする期間があれば50%が60%、70%と伸びてくると思う。締め切りを設けてから、もう一段階回収率を上げるための何か工夫があってもいいと思う。
- (事務局) 回収率が上がれば精度の高いアンケート結果になると思う。電話は難しいと思うが、再度通知を出すとか考えてみたい。
- (委員) アイディアによっては70%とか回答がえられればかなりいいと思う。40%とかだと興味ある人だけ書いているので、ない人にもどうやってスポーツをしてもらおうかという反映にはまったくならない。なんらかの連絡をとったほうがいいと思う。
- (事務局) 例えば整理番号を入れて分かるようにするとか業者と相談してみたい。
- (委員) もう一押しあるかないかで違うと思う。
- (事務局) 研究してみたい。
- (委員) アンケートの性格上、強制するのどうかと思う。
- (事務局) 強制ではなく、お願いということになると思う。
- (委員) 少なければ少ないほど、関心が低いということだが考え方が難しい。
- (事務局) やはりアンケートの回収率を上げることは大事だと思う。あまりしつこくはできないが、なんらかの形でフォローアップしても、出してこなかったらしかたがない。広報あづみので流すとか必要かと思う。
- (委員) アンケートをとるための予算はあるのか。
- (事務局) 予算づけしてある。
- (委員) 例えばお風呂の温泉の入浴券の半額券が入っていると。そういう形はダメなのか。
- (事務局) 確かに回収率を上げるそういった方法はあるが、役所だとできない部分がある。いずれにせよ、回収率を上げる方法は相談してみる。
- (委員) 障がい者のほうへのアンケートは別にとることになっているようですが、障害者福祉係のほうと連絡とって、平等になるように意見をとって欲しい。
- (事務局) 平均的に聞けるようにしたい。
- (委員) 欄外でもいいので子どもたちがどんなことを希望しているか、スポーツに親しむという視点から幼稚園あたり難しいかもしれないが、小学生あたりどんな考え方もっているか、アンケートとは別に調査すれば関心ももってもらえると思う。
- (事務局) 協力いただけるなら、小学生対象にも調査したい。
- (委員) サンプル数はこれでいいのか。
- (事務局) 市民の年齢層の割合を出したら10代は8%くらいしかないが、60代が14%と倍いる。

協 議 事 項 等

そのままだとサンプル数がとれないので定数を使っている。各年代区分に200ずつ分けて残りの600に構成比率を掛けてだした。地域のほうもバラツキが出てしまうので同じように調整した。

(会 長) ラーラ松本や豊科プールのチケットをつけるようなことは無理なのか。

(事務局) なかなか難しいものがある。回答していただいた方にお礼するというやり方もあるが難しい。

(委 員) 無記名か。

(事務局) そう。

(委 員) 招待券は無理にしても割引券なんかもある。ビレッジとか。そういうのはまずいのか。

(事務局) 割引券とかを提供してもらえかが1つ。それをアンケート回収のために使っていいかの問題も関係部署と話し合っ、考えてみたい。

(委 員) 公的機関でやると以後のアンケートすべてやっていかなければいけないということや無駄遣いと市民から批判があると思う。協力してもらおうしかないと思う。

(委 員) 賛成。

(事務局) 市のほうでもいくつかこういう計画を作っていてアンケートもとっている。割引券ということは今までもやってきていない。ビレッジも指定管理に出している施設で直営ではない。あの施設も収入を得て存続していかなければいけない。市も補助できない中、半額にしてやっていけるかという話にもなる。これははっきり言って難しい。できないと思う。

(委 員) 難しいと思うが、基本的にお風呂というのは健康につながると思う。

(事務局) 利用者と市が半額ずつだすとはっきり言えば、公社もいいと思うが、半分泣いてもいいよという話は無理だと思う。

(委 員) 例えば50円引きでもいいと思う。

(会 長) 検討してください。

(2) スポーツアンケート設問内容について

(会 長) 多岐にわたるので項目ごとに事務局のほうから説明をお願いしたい。

(事務局) 【実施目的・属性説明】

(会 長) 属性の部分、どうか。

(質問・意見なし)

(事務局) 【問1 スポーツ環境について説明】

(会 長) スポーツ環境についてどうか。

(委 員) 問1-5の関係だが、公民館のクラブみたいのはどこに入るのか。

(事務局) 任意サークルに入る。

(委 員) 関連してそういうことが出てきてもいいようにその他を加えておけばどうにでもなると思う。

(事務局) わかった。

(委 員) 問1-4、屋内、屋外と分けてもゲートボールを屋内ゲートボール場でやっていることもある。

(事務局) どこでやったということよりもどういうものをやったかを聞きたい。

(委 員) 屋内、屋外は関係なく、競技スポーツの名前を書いてもらえればいいじゃないかと思う。テニスなんか室内でやるものもある。

(事務局) 当初、私たちも項目で考えていたが、ありとあらゆるスポーツがあって水中ウォーキングとかアクアビクス、グラウンドゴルフ、ジョギング、ランニングと挙げていくと30項目ぐらいになる。そういう形をとるのか、ある程度メジャーなものだけをやっておいて、その他という形でやったほうがいいのか、意見が分かれている。みなさんからも意見をもらって、持ち帰って業者とも相談したいと思う。

(委 員) 屋内、屋外は分けられないほうがいい。テニスなんて冬になればほとんどインドア。いろんなスポーツが屋内に入ってきている。

(事務局) どういうスポーツをやっているかが分かればいい。

(副会長) 屋内、屋外、どこに書いてもらってもいいわけだ。

(委 員) 丸をもらったほうがいい。

(事務局) 実際、回答するときどちらのほうもみなさん回答しやすいのか。野球とか卓球とか選択して丸をつけるのか、それとも記述してもらうか。

(委 員) 丸のほうがいい。(多数声あり)

協 議 事 項 等

- (委 員) 無いものはその他でかいてもらえばいい。
(事務局) わかった。
(会 長) その方向でよいか。
(委 員) その方向でまとめてもらえばいいと思う。
(委 員) 不勉強でよくわからないが、問1 - 5の中に総合型地域スポーツクラブとあるがこれはなんだ。
(事務局) 後のほうになるが総合型地域スポーツクラブについて設問している部分がある。総合型地域スポーツクラブとは、身近な生活圏である中学校区程度の地域において、公共スポーツ施設を拠点としながら地域住民が主体的に運営するスポーツクラブのこと。年代、性別、技術レベルに関係なく誰もが様々なスポーツに気軽に参加できるということで現在、安曇野市の中では堀金にあり、国や県が推奨しているスポーツを行う形態である。分かりやすく用語の定義をだすようにする。
(委 員) 生涯学習推進計画にも書いてあるが、その言葉からは何のイメージもわからない。はっきりして欲しい。
(事務局) 定義を分かりやすくはっきりさせる。
(委 員) 問1 - 7の選択数が少ない気がするので、3つに増やしてはどうか。
(事務局) 3つまでならいるんな要因が分かると思う。

(事務局) 【問2・3今後の運動・スポーツについて説明】
(事務局) 問2は問1 - 4と同じようにする。
(意見・質問なし)

(事務局) 【問4スポーツイベントについて説明】
(委 員) スポーツイベントとはどういうことか。
(事務局) 例えば、各地域で行われている市民運動会、球技大会などをさしている。
(委 員) 設問の頭に市が行うスポーツイベントについてお聞きしますという文言が抜けている。
(事務局) わかった。
(委 員) 問4 - 1で100円を含む選択肢がない。
(事務局) 100円以上200円未満が抜けているので、足して欲しい。
(委 員) イベント、教室に参加したことがありますかと聞いているのに参加しないはおかしい。
(事務局) 参加したことがないに変えてほしい。
(委 員) 問4 - 1の経費の意味はどういうことか。
(事務局) スポーツ教室を市で行う際に参加料、保険料をもらっているが、どのくらいまで負担してもらえるのか聞きたい。
(委 員) イベントにはお金がかかることを書いたほうがいい。
(委 員) 経費ではなく、参加料、保険料などと具体的に書いたほうがいい。
(事務局) わかった。

(事務局) 【問5・6ボランティア活動について説明】
(委 員) ボランティア活動を行いたいと思いますかだと今後のことを聞いている感じがする。現在、やっている人のことは聞かなくてもいいか。
(事務局) はいの後に括弧して現在含むと入れたい。
(委 員) 先ほども言ったが総合型地域スポーツクラブがよく分からない。
(事務局) わかりやすくするために説明を入れる。
(委 員) 総合型地域スポーツクラブについてまずは知っているか、知らないか聞いたほうがいいのかと思う。
(事務局) 検討する。

(事務局) 【問7・8スポーツに関する情報について説明】
(意見・質問なし)

協 議 事 項 等

(事務局) 【問9・10・11 スポーツ施設について説明】

(委員) 問11に公式野球場の選択肢がない。

(事務局) 野球場や陸上競技場が欲しいという話は聞いている。新設のものはその他に書いてもらえればと思う。

(委員) 野球場と言っても、スタジアムのあるものからただの土のグラウンドと幅がある。

(委員) 改修と新設を分けて質問したほうがいい。

(事務局) わかった。検討する。

(委員) 問9で市外で利用するスポーツ施設は、把握しなくてよいか。

(事務局) 追加する。

(事務局) 【問12 スポーツ振興に必要な施策について説明】

(委員) 民間スポーツジムを誘致するを加えられないか。

(事務局) 加える。

(会長) 全体を通して何か質問、聞き残したことはあるか。
(意見・質問なし)

(事務局) 検討し修正して市民の方にお送りするアンケートはみなさんのところにもお送りする。次回は、施設の利用状況や他市との施設の比較について協議していただく予定である。

- 閉会 -